

科目名	財務管理論A Financial Management A						
科目担当者	本田 信雄 HONDA Nobuo						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(2)(4)
授業の概要	<p>本講義では、財務管理論の主領域である「企業財務論」、「投資理論」、「資本市場理論」に関する内容を取り扱う。具体的な内容としては、企業の財務意思決定、資本予算、資本コストと資本構成、モジリアーニ＝ミラー理論、配当政策、ポートフォリオ理論、資本資産評価モデル、および効率市場仮説等がある。</p> <p>財務管理論Aでは、上記のうち、主に、企業の財務意思決定、ポートフォリオ理論、資本市場理論、および効率市場仮説に関する内容を取り扱う。</p>						
授業の到達目標	<p>①企業財務に関する諸理論およびその意義について理解する。  ②投資に関する諸理論およびその意義について理解する。  ③資本市場に関する諸理論およびその意義について理解する。</p>						
授業計画・内容	1	財務管理の基礎(1)－財務管理論とは、企業の財務意思決定					
	2	財務管理の基礎(2)－財務管理の基本概念					
	3	財務管理の基礎(3)－投資のリターンとリスク					
	4	ポートフォリオ理論(1)－ポートフォリオとは、分散投資の効果					
	5	ポートフォリオ理論(2)－期待値・標準偏差分析					
	6	ポートフォリオ理論(3)－相関係数と投資比率、効率的フロンティア、最適ポートフォリオ					
	7	ポートフォリオ理論(4)－マーコビッツのポートフォリオ選択論、トービンの分離定理					
	8	資本市場理論(1)－ポートフォリオ理論と資本市場理論					
	9	資本市場理論(2)－シャープ理論(ベータの概念と資本資産評価モデル)					
	10	効率市場仮説(1)－効率市場とは、効率市場仮説					
	11	効率市場仮説(2)－効率市場仮説とその検定例①(ウィーク型仮説に関する検定例)					
	12	効率市場仮説(3)－効率市場仮説とその検定例②(セミストロング型仮説とストロング型仮説に関する検定例)					
	13	効率市場仮説(4)－市場アノマリーの存在とその継続性					
	14	新しい投資理論の展開					
	15	まとめ					
授業外学修 (事前学修)	配布資料に目を通し、専門用語等を調べておく (毎週2時間)						
授業外学修 (事後学修)	配布資料・講義内容ノートに目を通し復習し、課題実施に備えておく(毎週2時間)						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応
	前期末定期試験(またはレポート)				50%		①②③
	講義時の課題(レポートまたは小テストを計6回)				50%		①②③
成績評価基準	秀：(評点90点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：(評点80点～89点) 到達目標を高い水準で達成している場合 良：(評点70点～79点) 到達目標を一定の水準で達成している場合 可：(評点60点～69点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：(評点60点未満) 到達目標に達していない場合						
教科書	必要に応じて資料を配布する						
参考文献	なし						
その他							